

CLOVER



発行表 NPO法人地域医療を育てる会
 藤本晴枝
<http://iryousodateru.com/>
 平成26年8月5日発行
 第67号 東金1142 「東金の家」内
 TEL: 090-7634-7175

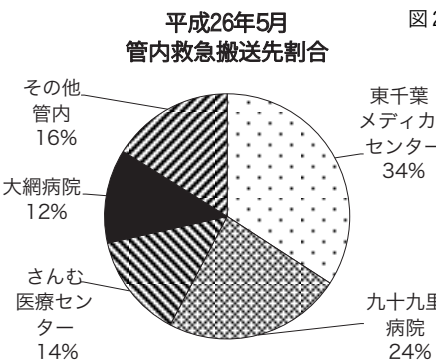
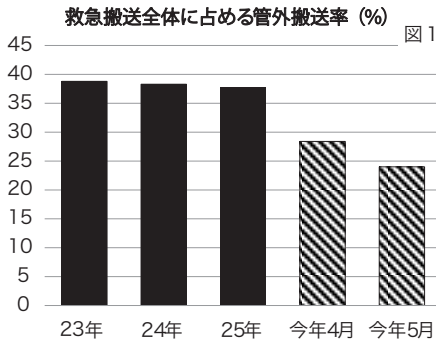
ビフォー・アフター 東千葉メディカルセンターがオープンして、救急医療はどう変わった?

東千葉メディカルセンター(以下、東千葉MC)がオープンして、早くも四カ月がたちました。救急隊や、開業医の先生からは「東千葉MCができて心強い」という声が聞かれます。住民からは「近くで救急対応してもらってよかった」「東千葉MCで診てもらえなかった」と、様々な声が聞こえてきます。そこで今回は、救急搬送の状況がどう変わったのかリポートします。

取材に応じてくださったのは、山武郡市広域行政組合消防本部の齋藤政信さん、救急隊長の内山伸吾さん、栗崎大輔さん。いずれも救急救命士の皆さんです。

救急車が遠くに行かなくても済むようになった!

これまで山武地域では、救急車の3台中1台は山武郡市以



外にある病院に患者を搬送して行きました。これを管外搬送率と言います。平成23~25年の管外搬送率の年平均は、順に38.8%、38.3%、37.8%でした。東千葉MCがオープンした平成26年4月、5月の管外搬送率は、順に28.4%、24.0%と下がっています(図1)。5月は、山武郡市内の病院に収容された患者565名のうち、実に34%、3人中1人は東千葉MCに収容されたことになりました(図2)。

今年4月以降、救急車を利用した人の中には「東千葉MCで診てもらえると思って、地域の他の病院に

救急はすべて、東千葉MCで?

「件数だけでも東千葉MCが相当多くの患者さんを受け入れていることがわかります。それに加えて何より心強いのは、緊急度、重症度の高い患者さんを東千葉MCで診てもらえるようになったこと」と齋藤さん。

ただ、東千葉MCは3年かけてフルオープンする計画で、1年目の現在は、すべての患者さんに100%の対応ができないことも事実です。東千葉MCでも救急担当医が他の患者の治療中であつたり、ベッドが満床である場合などは、今も管外に搬送することになります。

山武地域では、夜間における2次救急を地元の六つの病院(浅井病院、大網病院、九十九里

図3 1次~3次救急とは

1次救急: 軽症患者(帰宅できる患者)に対する救急医療
 2次救急: 中等症患者(一般病棟に入院する患者)に対する救急医療
 3次救急: 重症患者(集中治療室に入院する患者)に対する救急医療

運ばれた」と言う方もいます。救急隊の方も、搬送先の看護師さんに、「なんで東千葉MCに連れて行かないの?」と言われることもあるとか。いずれも、東千葉MCにかける期待が大きいことの裏返しなのでしょう。

ご存知の方も多いと思いますが、救急には1次、2次、3次の三段階があります(図3)。

病院、さんむ医療センター、高根病院、東千葉M.C.（五十音順）が協力して輪番で引き受けています。（実はこの5月、6月には、内科系で2日、外科系で2日、それぞれ輪番病院がない日がありました。この空白の日をゼロにするため、今も病院間での協議が続いています）

2次輪番の病院で受け入れが難しい場合や、3次救急が必要な一刻を争う患者さんには、東千葉M.C.に対応していただいています。

現場に到着した救急隊員は、患者さんの様子を見て1次〜3次の救急レベルで対応するべきかを判断します。そして、3次レベルの場合の多くは、すぐに東千葉M.C.に連絡をします。2次レベルまでの場合は、まず輪番病院をはじめ、2次救急の対応ができる病院に連絡をし、受け入れを要請します。

「大きな病院ができたんだから、東千葉M.C.に直接運ばばいいの」と思いがちですが、すべての患者さんが東千葉M.C.に集中すると、あっという間にベッドがいっぱいになって、東千葉M.C.でなければ治療できない患者さんが入院できなくなってしまいます。もちろん、医師や看護師の負担も大きくなって、医療を続けることが難しくなるでしょう。

「私たちは患者さんの症状や状態を見ただけで、東千葉M.C.以外に診てもらえる病院があるのな

ら、そちらを優先的に考えて搬送先を選ぶようにしています。患者さんやご家族には、その点を理解していただきたいと思っています」と内山さん。

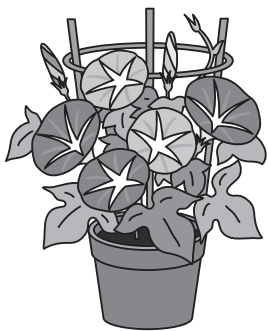
もしかしたら、2次医療を担っている医療機関のスタッフの方々にも、この点は理解をしていただく必要があるのかもしれないね。

引き続き、救急医療のマナーを守りましょう

東千葉M.C.ができて、以前よりも救急医療の状況はよくなりましたが、それでもまだまだベッドも医療スタッフも足りません。私たちが「これで安心」とばかりに勝手な受診をしていたら、救急医療はあっという間に崩壊してしまいます。よくあるケースが、昼から具合が悪くて様子を見ていたら、夜になってかなり悪くなって救急車を呼ぶようになった、という例。昼に比べると、夜ほどの病院も必要最低限の検査や応急処置しかできないものです。結局は、もう一度昼間に受診することになる人がほとんどです。それに、夜に受診をすれば、昼に受診をするよりも窓口で支払うお金が多くなります。昼のうちを受診をすれば、お財布にも優しいし、十分な医療を受けることができます。何より、夜は安心して眠れることでしょう。夜に具合が悪くなった時、「救急車を呼ぶほどではないけれど、朝まで待つのは不安だな」と思ったら、コラムにあるような機関を上手に活用してみるのも良い方法です。

長い間、遠くの病院まで患者さんを運んでいた救急隊の皆さんは、東千葉M.C.ができて、精神的な負担が軽くなったとおっしゃっています。「特に重症の患者さんに40分から2時間近くかかっていた以前と比べると、今は適応と判断されれば東千葉M.C.が受け入れてくれるので助かっています」とも。ただし、その安心感も、私たち一人ひとりが適切な医療機関へのかかり方を心がけ、なるべく救急患者にならないように気をつけることで初めて守られるものだということです。そして、2次救急の輪番体制は、複数の医療機関の協力があって維持できるものだということも忘れてはなりませんね。

（藤本晴枝）



夜に具合が悪くなった時

■山武郡市夜間急病診療所 診療科：内科・小児科・外科

診療日：毎日（年中無休） 診療時間：午後8時から午後11時まで
 ※持参する物：保険証・後期高齢者医療被保険者証・子ども医療費助成受給券

電話番号 0475-50-2511 Fax 0475-50-2535

所在地：東金市堀上360番地2

■医療機関の問い合わせ

山武郡市広域行政組合消防本部指令課 0475 (55) 0119

休日当番医テレホン案内 0475 (50) 2531 ※休日の日中診療します

■こども救急電話相談（千葉県）

プッシュ回線の固定電話・携帯電話からは #8000

ダイヤル回線・光電話・IP電話・銚子市からは 043 (242) 9939

相談日時 毎日 午後7時～午後10時



救急フェア山武2014のお知らせ

救急にまつわる展示や体験コーナーがあります。今年は看護師さんの「まちの保健室」で健康相談もできます。

日時 9月7日（日）午後1時から3時

場所 みのりの郷東金（ご注意！昨年までとは開催場所が違います）

所在地 東金市田間1300-3

TEL 0475-53-3615 FAX 0475-55-2690

